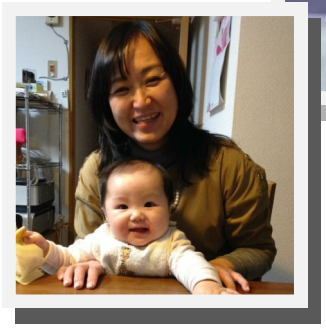
# 無所属
# 茨木市議会議員
# あびこ浩子

【あびこ浩子プロフィール】

- 玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- 1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha－House 代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長　歴任
- 2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選／2013・１選挙3期目当選
- 夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘



## 「誰かの安心」になりたい。市民の力で住みよい茨木に。

市議会議員になって8年間が経ちました。

主婦として、親として、市民団体の一員として、人権にかかわる事柄を大切にしながら0、時には自分の中の「生きづらさ」と向き合いながら、議員活動をしてきました。

4年前、私は突然腰の痛みから動くことができなくなりました。杖をつきながら、街のバリアフリーが進んでいないことに気が付きました。偶然にも、私の症状に合う医師と出会うことができて、歩くことができるようになりました。

この医師のように、安心できる頼れるものがあるというのはどれだけ気持ちを楽にしてくれるものか。皆様と一緒に悩み、一緒に考えることで私自身が「誰かの安心」になりたいと思っています。

市民が主役の市政をめざして、**団体や活動を一緒に創り、市民の活動のなかからサービスを生み出していく。**市民の力で茨木市を住みやすいまちにできるよう活動したいと思っています。

あびこ浩子は、どう進めていくのか？裏面に続く→

編集・発行　あびこ浩子／茨木市穂積台6-17後藤ビル101／TEL＆FAX072-624-5480／http://www.hiroko-abiko.jp/abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

# あびこ浩子は進めます！

## 「私の悩みは、みんなの悩み」

### ◆若者たちの将来について

子どもが3人いると、子どもたちの友人・その保護者の方々など子どもたちの成長と共にたくさんの方と出会うことができました。朝の駅で成長した彼らに出会います。生まれた時から知っているので、颯爽と通勤通学している姿に感無量です。しかし、中には高校を中退し、その後日雇いの仕事を続けていたり、就職できたけれど奨学金の返済が重くのしかかっていたりと、前途が難しい状況にある子もいると聞いています。幼い時から知っている彼らがどうか幸せに暮らしてほしい、希望を叶えてほしい、社会の落とし穴に落ちないでほしい、と願わずにはいられません。高校中退後のフォローや、若者の自立支援、奨学金のあり方の見直しなど早急に取り組まねばと焦る気持ちでいっぱいです。

### ◆子育て支援

娘が結婚し、孫に恵まれました。命が次世代につながることに感謝でいっぱいです。娘は大学で学びながら子育てをしているのですが孫を保育所に預けることができません。待機児童問題でフルタイム就労の方さえも保育所に入れないのですから、学生を理由での入所は諦めざるを得ない現状です。「子育てしながらまちに出よう！」私の子育て中の思いでした。娘が子育てする頃はもっと子育てしやすく変わっているはずと信じていましたが現実はそうではないようです。子育てが社会課題になってきましたが、まだまだ子育てしやすい社会制度は整っていません。もっと子育て家庭のニーズに寄り添った制度を整えなければと思います。子どもさんに障がいがあった場合、保護者の方は、その状況を受け入れることはなかなか困難です。しかしながら障害があっても、病気を抱えていても、「この社会で大切にされながら成長し暮らしていける」そんなまちにならなければと思っています。

### ◆高齢者支援

元気な高齢者の方が増え、80歳でもまだまだ、という気持です。第二の人生が明るく充実したものになるようにと願っています。この8年間、高齢者の「居場所と出番を創出」する取組を続けてきました。高齢者の方がサービスの担い手になっていただける仕組みをもっと進めていきたいです。しかしながら、いつまでも元気でいられるとはかぎりません。私の父は人工透析を受け、母は認知症も進んでいます。介護保険制度がどんどん改正され個人の負担が増えていくようです。それならば、時代の流れを見越して、長く在宅で暮らせる支援の形を一刻も早く実現したいです。「住み慣れた家で最後まで家族と過ごしたい」そんな希望が叶えられる茨木市であるように！

NPO活動、男女共同参画、人権、教育、住宅政策と思いはまだまだつづく・・

- 子どもたちの未来のために格差のない社会へ　！
- 子どもも、大人もひとりぼっちのないまちに　！
- 待機児童解消、子育てしながら社会に出られる仕組み作り　！
- ●障がいがあっても、病気を持っていても安心して暮らせるまちに！
- ○高齢者が活き活きと活動し、要支援・要介護に　なっても安心できる地域支援事業を！

### この人に聞くpart１　＜辻　由起子さん＞

大阪府知事認定こども家庭サポーター、前茨木市顧問である由起子さん。悩める子育て家庭の味方！明るい笑顔でみなさんをを支えておられます。『社会の一番小さな単位は「家庭」で、生まれて初めて出会うのは「家族」です。その家庭が愛情いっぱいで、命が生まれてきてくれたことに「ありがとう」と感謝できる家庭なら、生まれ育った子どもは愛と感謝を学べるはずです。どんなに人生で苦しいことがあっても、命の根っこに「愛」と「感謝」があれば、乗り越えられます。全ての方が、子どもを授かったことに感謝できますように。全ての方が、子育てを楽しめますように。』深く共感します。つながって活動をしていきます。http://tsuji-yukiko.jimdo.com/

### この人に聞くpart２　＜舩本幸二さん＞

NPO法人茨木シニアカレッジで活躍されています。現在82歳。同世代の皆さんとNPO法人を立ち上げ、「いこいこ未来塾」で学習を通して高齢者同士のつながりつくり、社会参加を応援されています。時代の流れに合わせて「タブレットコース」の新設や、「茨木シニアプラザ」の運営4団体の強みを活かして、新たな取り組みにチャレンジを続けていきたいと意気込みを語られました。高齢者自身の活動をもっと応援していきます！http://www.seniorplaza-ibaraki.com/index.html

茨木市を良くするにはどうすればいいのか、あなたのご意見をお寄せください！

【連絡先】電話＆FAX　０７２（６２４）５４８０
Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp
【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ
【H　P】：　http://www.hiroko-abiko.jp

facebook「あびこ浩子」
日々の活動はフェイスブックで報告しています。ぜひ「いいね」してください。

編集・発行　あびこ浩子／茨木市穂積台6-17後藤ビル101／TEL＆FAX072-624-5480／http://www.hiroko-abiko.jp/abiko-h@hcn.zaq.ne.jp